

CAVOK V 2019月年航海日誌(NO2)

(6月7日(金) Cagliari~6月27日(木) Barcelona)

松崎義邦氏メール(7月2日)

皆様に

予定よりサルデーニャ島の滞在が延びた関係で当初のルートを変えてサルデーニャ島より220NM 西になるメノルカ島マオンまで直行することにしました。

悦子と二人の時は出来るだけ夜間帆走はしないように心がけているのですがサルデーニャ島での長居の帳尻合わせで一昼夜半の航海になりました。

カリアリを出港して風光明媚なトゥラダのマリーナで一泊してからマオンに渡りました。トゥラダでは Paolo 夫妻が車で来てくれて4人でお別れの晚餐をしました。

マオン迄の航海は月明りもあり風も後ろからの良い風が吹き、順調な航海でしたが朝方は大分冷えて長袖、フリーズその上にオイルスキンを着てましたがそれでも寒く毛布を巻いてウオッチをしました。マオンは素晴らしい錨泊地で安心して休養出来ました。

マオンからスペイン本土ランカまでの160NM も順調に走りました。ランカでは毎年来艇する Lisa と合流して二泊三日でピレネー山麓を旅行しました。Lisa は美味しいレストランを調べてきているので彼女の案内でスペインでの食を大いに楽しむ事が出来ました。

次の泊地カゲダスではダリが40年間住んでいた“ダリの家美術館”の前にある入江にブイ錨泊をしました。ダリが愛した光景の入江での錨泊は粋なものでした。

そしてバルセロナで Lisa は下船して、ヨット部同期の田村和男、後輩の上田佐和子と合流です。

ロングセーリングとスペインの食を楽しんだレグでした。

バルセロナにて

松崎義邦

写真

1. トウラダでお別れ晚餐会
2. メノルカに快調なセーリング
3. メノルカ島マオンの錨泊地にて

4. 錨泊中の朝食
5. ダリの家からの錨泊地
6. ピレネー山麓ハイキング
7. ピレネー山麓のレストラン
8. クルス岬の錨泊地

2019年 CAVOK V 航海日誌(2)

6月7日(金) Cagliari ~ Teulada 32nm 快晴 SE 10ノット

当初予定していた出港日より2週間強遅れの今年の航海が始まる。出港が遅れたので当初の計画のルートを変更して Menorca 島経由でフランスとスペインの国境沿いでスペイン側にある小さな村 Llanca に向け Cagliari を出港する。

当初の予定ではサルデーニャ島を北に上がりコルシカ島経由南仏の経路予定だったがサルデーニャ島に長居したので、ショートカットになる Menorca 島経由にした。

Menorca 島迄250NM程の距離になる。途中 Teulada を経由して220NMだ。

今日は Teulada に向かう。ここも陸から来たことがあるが入り江の中にひっそりとある風光明媚なマリーナだ。

11:00に半年以上お世話になった Marina del Sole から離岸する。

良いお天気で風も途中から10ノット以上の追い風を受け心地良いセーリングで今年の航海が始まった。

Nora 遺跡の沖合を通過して Teulada の港に入るとラバーボートでスタッフが誘導してくれ16:50に舫いをとる。日本人が寄港するのは初めてだと歓迎してくれた。

パイロットブックにはガススタンドがあると記述してあったのでスタンドがあるか聞くと無いとの事、町までタクシーで行って購入するしかない。夕方 Paolo 夫妻が来るのでその時頼むこととして諦めると親切にもスタッフが一緒に行ってくれるとの事、彼の車でポリタンクを持って買いに行く。43L追加した。

夕方 Paolo 夫妻が来て艇で夕食を取る。

ペッコリーノとゴータチーズ、ニンジンサラダ、グリーンペッパーソテー、モロインゲンの胡麻揚げ、ズキーニと玉ねぎのパンチェッタの蒸し物を艇内にあった昨年シチリア島で購入したワインで頂いた。

Paolo の奥さんの Rahel の治療が無ければ一緒にバルセロナまで行く予定だったが治療の予定が入ったので一緒に行けなくなった。

滞在中多方面に亘りお世話になった。



6月8日(土)～9日(日) Teulada～Mahon(Menorca) 218NM 晴れ 微風～順風

約36時間のレグになるので日没前にMahonに到着するようにコーヒーとパンで朝食を済ませ06:10に舳を解く。

10時過ぎから北からの10ノット強の風が吹き出したのでセーリングに移るが2時間ほどすると風が弱くなり機走する。又2時間ほどするとよい風になり再びセーリングに移る。波が少し出てきた。ヨットは自然との調和だ。従って一歩間違えると不調和になってしまう。



お昼にはローリングする艇内で悦子が茹でたポテトと鶏肉と玉ねぎ、トマト、グリーンペッパーのオープン焼きを作ってくれる。味が染みて美味しく頂いた。

20:30 ごろに日没だ。風は追手の20ノット前後になる。夕方からジブセールとメインセイルをリーフ(縮帆)するが7ノット前後をキープする。

月は未だ三日月だが月明りが海を照らしてくれ助かる。

夕食はお昼の残りを頂く。不規則なローリングのせいかな何時もの様に食欲はわからない。

24 時前に風が弱くなって来て艇速も落ちてきたので機帆走に移る。Mahon に日没前に着くには6ノット前後はキープしたい。波は相変わらず不規則でローリングも不規則だ。

長袖、フリーズそしてオイルスキンを着ているが夜半より寒くなる。毛布をかぶる。行き交う艇は見つからない。

朝5時には明るくなる。悦子が起きて来てくれウオッチを交代をしてくれる。デッキの上で毛布にくるまって横になる。

2時間ほど寝てしまう。陽が出てくると暖かくなりオイルスキン、フリーズがいらなくなりズボンも半ズボンになる。

Menorca 島に近づくと波も治まり良い風が吹き出しセーリングを楽しむ。

Poalo に教わった Mahon の入り江に入ると既に 10 艇以上のヨットがアンカーリングしていた。17:50 に水深 5 m 弱の泥底にアンカーを打つ。しっかり効いた。静かな絶好なアンカーレッジだ。イタリアとスペインは 1 時間の時差があり 1 時間マイナス出来るので得した気分だ。

36 時間 40 分の航海だった。



早速テンドーを降ろして小島を廻り航路を挟んだ反対側の本島に行って町の様子をみる。Mahon は島の中心だがここ Es Castell は中心から離れている。

夕食にモロッコいんげんとにんじんの野菜ステック、ニンジンのニンニク和え、酢漬けイワシとパンのカナッペ、香草漬けサーモンのグリル、ポテトとレタスの付け合わせをデッキで頂く。今日もシチリア産ワインだ。静かなアンカーレッジでの夕食は 3 つ星レストラン以上に食事を美味しくしてくれる。

潮気の体をシャワーで洗い流しぐっすり静かな泊地のベッドで休む。

6 月 10 日 (月) Mahon 曇り

ぐっすり寝た。お陰で気持ち良い朝だ。体もすこぶる調子が良い。

今日は北風が強い予報が出ていた。朝方から吹き始めたが 4 方囲まれたアンカーレッジは波もなく風の音だけで静かだ。

風が強いので入り江から抜けて水路を渡り対岸の Es Castell の町に行くのに

は 2.3 馬力のエンジンの小さなテンダーでは心もとないので艇でのんびり過ごす。



午前中は曇り空もあって半袖では寒かった。お昼は体を温めようという事でキツネうどんを頂く。久しぶりの暖かいうどん美味しかった。

室内灯をLEDに替えたり新しいVHFハンディの調子を見たりのんびり過ごす。夕方になり風も収まったのでテンダーでEs Castellの町に行く。イタリアからスペインに来たのでスペインのSIMカードがないとインターネットがつかない。スペインのSIMカードが是非欲しかった。Es Castellの港の周りはレストランがずらっと並んでいて観光客も沢山だ。昨日行ったバーでビールを飲みながら、PCの充電とWIFIを使いインターネットをする。店員にVodafoneのショップがあるか聞くとMaoの町に行くと言ったのでタクシーで行ってSIMを購入する。これで通信機能が確保できたのでホッとする。

艇に戻ると悦子が夕食を用意しておいてくれた。

今日は日本食メニューできんぴらごぼう、冷奴、納豆、イワシの酢漬けを玄米ご飯で頂く。白ワインがなくなったので赤は合わないという事でビールにした。

今日も静かなアンカーレッジで眠りにつく。

6月11日(火) Mahon 晴れ 微風

微動だしない静かな入り江での眠りだった。

朝食後テンドーで悦子と Es Castell に行き、馴染みになったバルで PC, モバイルその他の充電を兼ねてコーヒーを飲む。適当に充電した後タクシーで行く Mao の町に行く。

タクシー代が 8€ ぐらいの距離だ。街を観光していたら魚市場に隣接したピンチョスを各種並べて置いてある食堂街を見つけたのでハモンセラノ、ポルポのピンチョス、サーディンのフライとパエリヤをお昼に食べてから港に出る。観光客も多く賑わっている。海沿いに歩きながらガススタンドのあるマリーナを探す。幸い見つけたので明日朝給油に来ることを伝える。明日は 160NM 先のスペイン本土 Llanca を目指すので燃料を補給しておきたかったのでホッとする。

そのまま歩いて帰る。途中小さなスーパーマーケットで明日の総菜を買う。

艇に戻ってからのんびり過ごす。久しぶりに泳いでからシャワーを浴びる。

昨日は 20 艇近くいた艇が今日は 10 艇ぐらいになっている。

午後の日差しを浴びながらビールを飲みながら読書を楽しんだり明日の天候を各種ウエザーサイトで調べる。

錨泊時は暗くなる前に夕食を取るので食事の時間が早くなる。と云っても 7 時過ぎだ。

晩御飯は、スープ、トマトと玉ねぎのサラダ、ゴボウとニンジンが入ったおから、塩昆布、イワシの缶詰めを玄米ご飯で頂く。おからが美味しく又日本食でコレステロール値を下げるのに良い食事だった。

艇が微動だしない静かなアンカーレッジで 3 日目の夜を過ごした。

6月12日(水)~13日(木) Mahon~Llanca (160NM) 晴れ後快晴 微風

今日明日が一昼夜の航海に適した静穏なお天気なので 160NM 先のイベリア半島スペイン本土 Llanca を目指すことにする。

9:30 にアンカーを揚げて Mahon の町にあるマリーナにある昨日確認したガススタンドに行き満タンにする。70L 入る。CAVOK5 (Jeanneau Sun Odyssey 45.2) の燃料タンク容量は 205L だ。満タン入っていると巡航速度で 80 時間走れる。出来るだけ満タン状態になるよう施設があれば給油している。

結局 10:30 の出港になる。

風は北北東風、昼過から 12~15ノットの良い風が吹き出しセーリングに移る。約 3 時間風が続いたがその後弱くなり機帆走で目的地まで走るようになる。幸いに風が予報通り南に変わり弱い追い風で夜、風を感じず寒さが軽減され助かる。

夕方から海面も穏やかになりペッコリーノでワインを飲む。幸せな時だ。夕食はグリーンカレーを頂く。妙に昆布の佃煮があった。夕食後暫く悦子にウオッチを交代してもらい横になり徹夜に備える。

21:16に日没になる。緯度が北緯42度になるので札幌と同じくらいの緯度だ。

日没後は半月の月明りが海面を照らしてくれるので助かる。クルミ入りパンを赤ワインとチーズでチビチビ飲みながらウオッチする。ウオッチと云っても15分に1回周辺をチェックして暫く休憩と云う繰り返しになる。

03:50には月も沈む。このころになると寒さが強くなる。日中半袖なのに夜はヒートテックの下着に長袖、長ズボン、ダウンを着込んでその上にオイルスキンを着るがそれでも寒い。毛布で体を包む。

朝方悦子がオニオンスープを作ってくれたが体が温まり美味しかった。

06:10に陽が上がる。徐々に暖かくなり一枚一枚脱いでいく。

13:40にLlancaのマリーナに舫いを取る。若いスタッフが手伝ってくれるが英語が通じない。マリーナと云えどもローカルになると英語が通じないスタッフも多い。

こちらはスペイン語は全く駄目だがとっても親切な若者たちで助かる。

ビールで無事到着の乾杯した後マリーナで手続きする。ここには23日まで10日間繋留してその間ピレネー山脈旅行を計画している。

ここは海辺のリゾート地だが未だ観光客はあまり来ていない。

マリーナの隣は海水浴場でレストランやバーが隣接している。夕食はスペイン料理を赤ワインで食べる。イワシの酢漬け、イベリコハム、チェリソ、サラミとチーズの盛り合わせ、ポルポとジャガイモの煮つけ、イワシのグリル、ツナ野菜サラダ、ムール貝そしてブルスケッタを食べる。それぞれ量は多くないがお腹いっぱいになる。イワシ料理が特に美味しかった。

6月14日(金) Llanca 曇り 南東強風

午前中はメールのやり取りと航海の下調べをキャビンでやる。ここはWIFIが良く入るので助かる。結構これで時間を使う。

食料が不足してきたので14~16時の間のシェエスタが始まる前に買い物に出かける。スペインに入ってからシェエスタの時間帯は飲食店を除いて休みをしっかりとっている。

電気屋があったのでトースターが壊れたので買う。

自転車は荷物を運ぶのに重宝するので多く買い物をするときにはカート代わりに持って行く。

戻ってから冷奴、納豆(乾燥納豆)、ちりめん雑魚、昆布、牛肉のしぐれ煮、みそ汁で玄米ご飯を頂く。常に欠食児童になっているせいか何を食べても美

味しい。

お天気が曇り空で風も強いので洗濯は諦め艇の整備をするがステアをターンバックルで締めようと思うが私の力では回せない。エンジン関係の V ベルトも張りを持たそうとナットを緩めようとするがびくとも廻ってくれない。整備を頼むことにする。

帆走中は体を良く動かすので筋肉運動になっているが、停泊中は運動不足になるので夕方 1 時間ほど速足で町を散策する。

イタリア人とスペイン人は顔つきが違う。どちらかと云うとスペイン人の方が険しい顔つきだ。

散策の後久しぶりにシャワールームで気持ち良いシャワーを浴びる。

夕食はオニオンとトマトのサラダ、イベリコハムとピーチでビールを飲んだ後、ローストチキンとカポナータをリオハの赤で頂く。リオハのワインは樽熟成の風味が強く味わいがある。

食事が終わると 22 時になった。そのままベッドにもぐりこむ。

6 月 15 日 (土) Llanca 曇り 北北東 20~25 ノット

朝食後洗濯をマリーナにあるコインランドリーで洗濯する。その間に町の観光客用のインフォメーションセンターを訪ねて Llanca 駅や Girona 空港への行き方、ダリ美術館の案内やレンタカー会社の場所、ハイキングコース等を教えてもらう。とても親切な案内であった。

ヨットに乗っていると色々と小物が必要になってくるので中国人ショップ(品物が多彩で安い)で買い物をして帰る。

お昼は昨日の残りのローストチキンを使ったチキンサラダを白ワインで頂く。日中につきグラス 2 杯にしておいた。

そのままコクピットでシェエスタに入る。日差しと風の調和が心地よい。

洗濯物も直ぐ乾いた。

泳ごうと思ったが風が強いのでやめて海岸線を 1 時間ほど歩いたり、走ったりする。

今晚は町の広場でバンドの演奏がありタパスと飲み物の出店が出るイベントがあるので其処で夕食を食べることにして 20 時過ぎに行ってみる。

大変な人の数でタパスや飲み物のチケットを買うのに長い列が出来ていた。又チケットを購入しても、タパスの店も並んでいるので諦めて着いた日に行ったお店でサーディン、ガンバス、野菜、オクトパス、カラマリのタパスとツナサラダを赤のハウスワインで食べる。タパス料理は色々な種類が食べれて楽しい。

艇に戻ってからピレネー山脈旅行について Lisa と連絡を取り旅行行程とホテ

ルを予約して就寝する。

6月16日(日) Llanca 快晴 微風

久しぶりに雲一つない快晴の朝を迎えた。先日雨がパラパラと降った際雨水に交じった土砂がデッキを汚しているのを洗い流す。

ジブセールのファーリングのラフの下部がガイドレールから外れていたのも、微風になった今日、ジブセールを開いて直す。次から次にやることがある。創意工夫して直すのも楽しみの一つではある。

お昼は久しぶりにパスタで茄子入りトマトソースのノルマを白ワインで頂く。

お昼にワインを飲んだ日はシェスタになる。

起きた後海岸に泳ぎに行く。未だ海水温度は低く泳いで5分であがる。あがると日差しが強く暑い。体を温めて又泳ぐ。帰りにシャワーを浴びて艇に戻る。

夕方の豊潤な時間をビールで喉を潤おしながらのんびりコックピットで過ごす。

夕食はハモンセラノとピーチ、野菜サラダ、ミネストローネと玄米をリオハの赤で頂く。19:30から食事を始めたが食事の終わった20時過ぎは未だ太陽が地平線上にある。

太陽が沈むと長ズボン、セーターが欲しくなる。

今日は夕食が早かったのでキャビンに入りお茶を飲みながら音楽を聴いて安らぐ。

6月17日(月) Llanca 快晴 微風

今朝も雲一つない青空の朝を迎える。特に予定の無い日が続くがこれが好きだ。

午前中にスーパーマーケットに食料の買い出しに行く。

魚屋で魚を探したが良さそうな魚が無かったので、今晚はステーキにすることにサーロインを買う。

テンダーのエンジンのプラグの予備を買いに船具屋に行くが同じのが無く明日届くとの事で注文して置く。又シャワールームの格子状の床板がバラけたので、これを修理する。艇では次から次にやる事が出来るがこの修理が楽しみでもある。

お昼はミネストローネと冷奴、納豆、じゃこ山椒、塩昆布を玄米飯で頂く。

毎食美味しく、食事がとっても楽しみだ。

午後はシャワールームの床板の修理を完成させ、海水浴に行く。今日は7分泳ぐ。もっと泳ぎたいが水が冷たいので大事を取って早めに上がっている。

ハモンセラノとオニオンでジンリッキーをシャワー浴びた後コックピット

でハッピーアワーを楽しむ。

夕食は野菜サラダにアスパラの付け合わせでサーロインステーキを頂く。サーロインながら脂身が少なく我々には丁度良い味だった。

静かなマリナーで静かな時間を音楽聞いて安らいで眠りにつく。

6月18日(火) Llanca 快晴 微風

今日も良いお天気だ。明日 Lisa が来るので布団を干す。明後日からのピレネー山脈旅行にレンタカーを予約する。この町には車が無く約 50 km離れたジローナ (Girona) から配車との事 4 日間のレンタル料 175€プラス配車料 30€だった。空港で借りるのが一番安く同じ日程で 50€で借りれるが如何せん空港まで遠いので諦める。

マリナー内にある 4€のコインランドリーで洗濯するが午後洗濯して干しておくのと夕方にはカラカラに乾いている。

お昼にジャガイモ、タマネギ等入ったスパニッシュオムレツとラーメンをビールで頂く。ビールで気持ち良くなりシェスタを楽しむ。

16 時になるとシェスタも終わりお店が開くので昨日頼んでおいた船外機のプラグを取りに行く。

今日の運動は 30 分ほど海岸沿いの散歩道を走って、帰りは海際の岩場に戻る。岩場を渡って行くのはバランス感覚を養うのに良い。

陸での運動の後は海岸で泳ぐ。冷たくて気持ち良いのだが今日も 7 分で上がった。

浜は砂利だがその砂利が暖かく横になると気持ち良い。日差しも強い。

南風が夕方から強くなり艇が岸壁に近づきすぎたので舳いを詰める。

夕食はパエリアを食べる予定でお目当てのレストラン行ったが今日は休みで諦め、別の店でハモンセラーノとメロン、チキンのグリルを悦子が私はムール貝とオラーダのグリルをハウスワインで食べる。赤ワインを頼んだが少し辛口すぎた。

南風のせいか日没後も半袖で十分だった。

6月19日(水) Llanca 晴れ時々曇り 微風

今日は Lisa がドイツから来る日だ。昨日予約しておいた車を 11 時に町のレンタカー屋に取りに行く。

お昼はチキングリルとカポナータを頂く。

1 時間早まり Lisa は Llanca の駅に 14 : 50 に到着する。LLC でドイツのメジャーでない空港から Girona 迄の直行便が週 3 便運航されていて約 2 時間で来たそう。

ヨーロッパ域内はLCCで安く早く行けるので便利だ。

何時もの様に元気な姿で電車から降りてきた。

艇に着いて彼女は昼食を食べて一休みしてからカダケス (Cadaques) にあるダリの家美術館に行く。ここは予約が必要でLisaが19時に予約を入れておいてくれた。

カゲダスは小さな漁村で小さな入り江のポルト・リガッタ (Port Lligat) にアトリエがありここが公開されている。ダリらしい設計のアトリエで窓からは額縁の絵の様に入り江が見える。素晴らし眺めだった。

ここには奥さんのガラが亡くなる1982年まで40年間ここで暮らしたそう。奥さんが亡くなったと同時にこの家をでて二度と帰ることが無かったそうで書きかけの絵が二点そのまま残っている。

この入り江にはヨット、モーターボートが設置されているブイに多数繫留してあった。



帰りにここから20分位離れた町にあるダリが良く来たという小さなレストランをLisa

が探しておいてくれ行く。当初満員だとの事だったが席を作ってくれた。

店長お薦めのアピタイザーにトルティーヤ、ブルスケットにアンチョビとチーズ、アスパラガスの上にレッドペッパーをのせた料理、ガンバス (海老) の

グリル、メインにハルバット（おひょう）食べる。エビは甘く、ハルバットは脂がのって美味しかった。デザートはお店の奥さん自家製の自慢のアイスクリームだった。地元産白ワインを頼むがアロマの香りがしてやや軽めのボディで味わいがあるワインで大変美味しかった。

大満足でランカに戻る。

6月20日(木)Llanca〜Macanet de Cabrenys(マサネット・デ・カブリニス) 晴れ、雨

午前中にダリ本人が故郷のフィゲラスに造ったダリ劇場美術館に行く。ダリらしい奇抜な外観と内装で超現実主義の作品が多数展示され見応えがあった。

お昼はフィゲラスの町でLisaが調べておいたレストランでタパス料理を食べるが一つ一つ味わいのある味付けでシードルと良く合った。

フィゲラスの郊外のスーパースポーツ店で明日からのトレッキング用に悦子のトレッキングシューズを買ってからピレネー山麓の町 Macanet de cabrenys(マサネット・デ・カブリニス)に向かう。

この町は15世紀から栄えていて狭い道の両側は中世の建物が壁を作り風情のある軒並みを作っている。途中狭い道に入り込み往生した。アパートメント形式のホテル”Apartment Cal Ratero “の宿に泊まる。部屋の窓からは山の景色が美しく見える。生憎と雷雲が被ってきて豪雨になる。

夕方の散歩は諦めて皆さんベットで転寝を楽しんだ。

夕食はここのアパートメントの主人もお薦めの“Hostal La Quadra”に行く。20時過ぎに行ったが30人ほどは入れるテーブルがほぼ埋まっていた。

今日はピレネー山麓なので肉料理のコースをそれぞれ注文する。私のメインは子牛のステーキ、悦子はフォアグラと子牛のほほ肉、Lisaは豚の耳、鼻、足を食べる。ジローナの牛はブランドになっている。ワインは地元ローカルワインの赤を頼む。ドライで肉にあった。

フルコースで、お肉とワイン飲んで3人で90€だ。とっても美味しいお肉に満足した。最高のコストパフォーマンスだった。

アイスクリームとシャーベットのデザートの後グラッパをサービスしてくれた。

誰も居ない静かな中世の石畳の道を中世の時代を思い浮かべて歩いて帰る。



6月21日(金) Macanet de Cabrenys 晴れ、雨、曇り

今日は山麓をトレッキングする日だ。朝食後オレンジとバナナと水を持って近くの山 Salines の山頂を目指す。山頂には18世紀に建てられた教会がある。



約2時間弱歩くと山の方の雲行きが悪くなってきた。予報では午後3時過ぎ

から雷雲発生の予報が出ていたが雷雲の発生が早まりそうだ。昨日の豪雨を思い浮かべ諦めて下山した。

丁度町についてバーでコーヒーを飲みながら一休みしていたら雨が降り始めてきた。

早めの退却が大成功だった。

お昼はホテルの近くのレストランに行く。行くレストランは、品書きは少ないが何れもシェフの自信作の様で素晴らしい味付けだ。アンチョビとブルスケッタ、コッドのクロケット、マスのグリル、白いんげんとソーセージ、子羊のグリルを食べた。

Lisa が料理を良く知っていてそれぞれ内容を説明してくれ、彼女のリコメンドを参考にメニューを決めている。

外は小雨模様なので部屋でシェスタする。

シェスタの後中世の街並みを散策してからこの町の郊外にあるホテルレストラン (Els Cagadors) で夕食を食べる。この辺りのレストランの内装は似ているが石と木を上手に使ったこじんまりした美しい部屋模様だ。

今晚のメニューはウオターメロンとエビの入ったガスパッチョ、野菜サラダ、コッドフィシュのカルパッチョ、胡麻で包んだマグロのたたき、豚の肩肉の照り焼きソースとゴートのグリルを食べる。毎日外食で美味しい料理を食べているので体重、コレステロールが心配になる。でも折角のチャンスなので楽しんでいる。コッドフィシュの生は初めて食べたがカルパッチョにしたせいかタイに似たテクスチャだった。マグロのたたきも鮮度を保ったしっかりした味で美味しかった。

ここのホテルはシャワールームにバスタブがあるのでゆっくり浸かって体を温めた。

6月22日 (土) Macanet de Cabrenys ~Llanca 晴れ

午前中にピレネー山脈の南端になる山麓 Rabos の近くにある Sant Quirze de Colera の修道院を見に行く。途中 Garriguella の町に車を止めて約7kmの距離を歩く。国立公園の中で両サイドはブドウ畑やコルクの木そして牧草と気持ちの良い散歩道だった。

最初 10 世紀に建てられてその後幾世紀かに渡り変革を遂げた修道院が山麓の広く開けた山裾にどんと構えていた。

ヨーロッパの修道院、教会の立派さにはいつも驚嘆する。

お昼は街道の村にポツンとあるレストランでタパスを食べる。

艇に戻って休んでから私はいつものように泳ぐ。未だ海水は冷たく 10 分泳ぐと体が冷えてきたので上がる。

夕食は国立公園内の Cap Creusの岬のレストランに行く。岩壁がそそり立つ中無数の入り江があり、その中にはアンカーレヅに適した入り江もありアンカーリングしている艇もある。



これらの入り江を一望に見渡す岸壁の上に灯台がありその横にあるレストランに行く。眼前の海の景色と夕日が美しい。大変混んでいて1時間近く待ってやっとテーブルにつけた。風があり外は肌寒いが元気な人たちは外のテーブルで食事をしながら夕日を楽しんでいた。

人気のレストランで食事も美味しい。野菜サラダ、マッシュルームのクロケット、イワシのグリル、ラムチョップそしてオラーダ(鯛科の魚)のグリルをそれぞれ食べる。

我々は各自頼んだ料理をシェアして食べている。

調理の仕方も魚も新鮮で美味しくラムチョップも美味しかったそう。

食事にありついたのが22時前で終わったのが23時過ぎになった。

約50分で艇に戻り私は運転があるのでワインが飲めなかったの艇で一杯飲んで疲れをとりぐっすり休む。

6月23日(日) Llanca 快晴

サンファン火祭りがあろうという事でもう一泊ランカに泊まることにした。

午前中昨晚行った Cap Creus を見渡せる山頂の直下に立つ Sant Per de Rodes 修

道院に行く。この修道院も 11 世紀に建てられている。山頂に登ると 360 度のパノラマの景色だ。ピレネー山脈から地中海まで見渡せる。特に海側は入り江がちりばめられていて美しかった。

修道院内にあるレストランでコーヒーを飲んで車に戻ると三角窓が壊され後部座に置いてあった袋の中を物色した跡があったが、中には金銭を置いてなかったので取られたものはなかったがショックだった。もう一つ幸いだったのは携帯 GPS と運転席の脇に置いてあった IPAD が取られてなかった事だった。

車の中に金銭が入っているように見える袋をおいて置いたのがいけなかったようだ。

レンタカー会社に電話するが休みで通じず最寄りの警察署に報告して書類を作成してもらった。

今日は夏至を祝うスペインのお祭りで町は賑わっている。お昼は久しぶりのお蕎麦を頂く。Lisa も 7 年振りの蕎麦と喜んでいた。

車の件で午後半日を通やしてしまう。

町はお祭りで混んでいるので夕食は艇で食べることにした。

艇では定番の大盛野菜サラダにステーキを頂く。ヒレ肉で柔らかく美味しかった。

ワインは Lisa のお土産のドイツワイン、それとスーパーマーケットで買った量り売りの 1 リットル 2.5€ の赤を飲む。量り売りの赤も中々でした。

海岸からはお祭りの花火があがり、生バンドも入り賑やかだった。

6 月 24 日(月)Llanca~Cala de Port Lligat 10NM 晴れ 東 10 ノット

ゆっくり出港準備して 11:00 に舫いを解く。10 日間繫留した。

途中先日食事をした Cap Creus の灯台のある岬を廻り 10NM 先の Cala de Port Lligat を目指す。風弱く機帆走で走る。13:20 に湾内のブイに舫う。アンカーの余地は無くブイ舫いだけのマリーナと云う感じだ。ほとんどが小型モーターボートだった。予約しておいたのでスタッフがテンドーで来てブイに舫いを取ってくれる。ブイ舫い代がなんと 60€、先に泊めておいた Llanca のマリーナが 51€なので高すぎると云ったら他へどうぞという事だった。諦めて繫留することにした。ダリの家の前に入り江という事もあるのだろう。ダリの家屋根にある卵が見え、確かに良い錨泊地で穏やかで静かな時間を過ごせる。遅いお昼にパスタ・ノルマを頂く。お昼はロゼが合う。

折角の錨泊なので泳ぐ。水温が大分上がってきている。測ると 22℃あった。そのままスターンでシャワーを浴びる。

夕食用に全粒粉のパンを焼く。焼き方は Paolo 宅で作り方を教わった。

イースト菌も入った全粒粉をキャリアで購入しておいた。

結構上手に焼けて評判も良かった。

ステーキの肉の入ったサラダとパンと赤ワインで夕食を頂いた。

夏至が過ぎたばかりで日照時間が一年で一番長い日だ。ここは緯度も高いせいもあり 15 時間 18 分の日照時間になる。夏時間の採用もあって日没が 21 時 18 分になるので 10 時頃まで薄暮が続く。暗くなると同時に眠りにつく。

6 月 25 日(火)Cala de Port Lligat~Aiguafreda~Aiguablava~Palamos 31NM 晴れ
微風

朝食後21NM 先の錨泊地 Aiguafreda を目指す。今日も追手の微風でセーリングにならない。小さなうねりが残り、艇が揺れる。

Aiguablava の入り江に入るがアンカーを打つ場所無く、すべてブイ舳いになっている。ヨットは 2 艇だけで後はモーターボートだった。この辺はヨットより小型モーターボートが殆どマリーナや泊地を占拠している感じた。

テンダーでスタッフが来て予約でいっぱいとの事だ。諦めて2NM 先の別の泊地に移動するがここにはヨットは 1 艇だけうねりも入っているので錨泊は諦めてこの先 6NM の Palamos のマリーナに電話で予約を入れて行く。

途中お昼も過ぎたのでサンドウィッチを頂くが、ハモン、トマト、レタス、キュウリと玉ねぎが入りとても美味しかった。

マリーナに入ったらガスステーションの前に舳いを取るよう指示されたのでついでに軽油を入れる。前回から計算すると 1 時間当たり2L の消費になる。機帆走で大分燃料消費率は良いようだ。

15:00 にポンツーンに移り舳う。

この辺りから主要マリーナは繋留料が高くなりここは一泊 91€だった。

早速水洗いをしてからビールを飲む。今日から夏の暑さになって来た。

2 か所錨泊予定地で錨泊できなかったがうねりが入っていた泊地より安ど感があった。正解だった。

夕食は豪華でチーズ、サラミ、ハモンイベリコでスパークリングのカバワインでアペリティフを楽しんだ後、鴨のソテーとつき合わせポテト、野菜たっぷりのカポナーダをリオハの白ワインで頂く。鴨が柔らかく絶品の味だった。

スペインはイタリア、フランスに次いで 3 番目のワイン産出国だ。イタリアに続いてワインが楽しめる。

6 月 26 日(水)Palamos~Barcelona 51NM Clear 東 15 ノット

07:30 に舳いを解く。予報では追手の東の良い風が吹くとの事でセーリングが楽しみだ。2 時間位して予報通りの東の 15 ノット前後の風が吹き出しランニングを楽しむ。コースによって真追ってになる、その時は観音開きにする。それでもスピードは 6 ノット以上キープする。日中の日差しが強いが日よけのビニトップの下にいと半袖で少し寒いぐらいで心地よい。

お昼は狐うどんを頂く。Lisa も久しぶりのうどんで大喜びだった。

当初バルセロナ近郊の Badalona のマリーナを予定していたがパロモスのマリーナの女性スタッフに“何故何もない Badalona に行くの”と云われて急遽 Port Olimpic に変更して予約を入れておいた。

約 5 時間気持ち良い走りが出来たが、その後風が落ちて波だけ残ったので機走にした。この辺りになるとセーリングしているヨットが多くなる。16:30 に舫う。

このマリーナは 2011 年に繋留して一時帰国したところで懐かしい。

又 1992 年のバルセロナオリンピックの時のセーリングボートの会場として造られた。

今年江の島が東京オリンピックの会場になるがマリーナの規模の大きさが違う。

大きさ、施設とも充実しているので江の島の会場が大丈夫か心配になる。

水分が自然放出しているせいかトイレの回数が極端に減る。到着後の冷えたビールが美味しい。

隣の艇の小さなお嬢さん二人いる家族が寿司をテイクアウトしてきたというのでドライフリーズみそ汁をプレゼントする。とっても感じの良いスイス人の家族だった。

夕食はアピタイザーを艇で楽しんでから外食予定していたが、トマトにオニオンのサラダ、チーズ、サラミ、ハモンセラノの盛り合わせ、野菜サラダをピレネーのレストランで購入したシェリー酒で楽しいでいるうちにお腹がいっぱいになり外食取りやめにした。

6 月 27 日(木)Barcelona 快晴 微風

午前中 10 時に頼んだエンジン整備のメカが来る。定期点検の整備をお願いしていた。ヤンマーの看板の店のメカだったがエンジンオイルをクラッチオイルに使ったのでヤンマー純正のクラッチオイルに交換させた。燃料フィルター、オイルフィルター、冷却水を交換、V ベルトを締める。

お昼過ぎまでかかったので Lisa と悦子は外食してもらった。私は野菜を味噌で丸かじり、豆腐と納豆で済ます。コレステロール値を下げるにはよい食事だ。

部品代入れて整備に 300€払う。

今日の夕方ので Lisa は帰国するので 16 時にタクシーを頼み空港に向かった。

彼女のお陰で良いレストランに行けて美味しいものを食べられた。又スペインでは英語全く通じないことが多々あったのでスペイン語も出来る Lisa のお陰で助かった。

大きなマリーナなので外に出るまで大分遠い。自転車でスーパーマーケットを探して当面の食材を買って帰る。周辺がビーチになって居るが夏の江ノ島の海水浴場並みの混み方になっていた。

ミネラルウォーターを買うついでにスイカを買って帰って食べたが甘くてとっても美味しかった。

日中は灼熱の暑さなので夕方のでビールが何とも言えず美味しい。

久しぶりに夕食は玄米ご飯を炊いて味噌汁佃煮、イワシの缶詰めの簡単日本食を頂く。